

平成21年度教育委員会評価

<評価対象期間>

平成21年4月1日～平成22年3月31日

平成22年9月

加西市教育委員会

加西市教育委員会評価委員会

平成21年度 加西市教育委員会 主要施策

大項目	中項目	担当課	シート	重点目標	小項目	加西市教育行政方針			
新しい時代を拓くこころ豊かな人づくり	新しい時代を拓く教育委員会の創造	教育総務課	1	教育委員会会議の機能の充実を図り、市民や学校現場の声に耳を傾け、新たな課題に対応した教育施策を実施する。	1 実効的な会議の運営 2 活動状況に関する情報の公開 3 教育の改革・改善に向けた課題認識 4 行政委員会としての執行力の向上 5 教育委員の研修の充実				
	基礎、基本の定着と、個性や能力を伸ばす教育の充実	学校教育課	2	生涯学習の基礎となる基礎的・基本的な知識技能の習得、自ら学び考え、物事に主体的に関わっていきこうとする意欲や態度を育成する。	1 学ぶ喜びと個性を生かす学習指導の充実 2 創意工夫を生かした総合的な学習の時間の充実 3 自己実現をめざした進路指導の充実 4 一人一人の教育的ニーズを把握した特別支援教育の推進	I-3 I-6 I-8 I-9			
	豊かな体験と心の教育の充実	学校教育課	3	体験的・実践的な活動を通して、心身の調和のとれた児童生徒の育成を図る。	1 心に響く魅力ある道徳教育の推進	I-4			
					2 自己実現と共生をめざす人権教育の推進	I-10			
					3 個と集団が伸びる特別活動の推進	I-5			
					4 児童生徒理解に基づく生徒指導の推進	I-7			
					5 健康保健安全教育の充実	I-2			
	時代に対応した教育の推進	自己実現サポート課	4	家庭の教育力の向上、青少年の社会参加や体験活動機会の充実、地域の人々の主体性に基づいたコミュニティの活性化を図る。	1 たくましくこころ豊かな青少年の育成	II-3			
					2 愛と豊かな人間性を育む家庭教育	II-4			
		教育総務課	5	子どもの安全確保のための施設整備と健康づくり	1 各学校施設の適正管理	I-2			
					2 教育関係施設の計画的な整備 3 学校給食の適正実施	I-13			
	生涯学習及び芸術文化、スポーツの振興	市史・文化財室	7	ふるさと加西の文化財の保存と活用を推進する	1 文化財保存と活用の充実 2 歴史文化遺産の魅力発見と発信 3 市史編さんの推進と活用	II-9			
					青少年センター	8	家庭・学校・地域・関係機関が連携し、市民ぐるみで子どもたちの健全育成、非行防止を図る。	1 巡回補導活動 2 相談活動 3 広報啓発活動 4 関係機関との連携	II-3
								自己実現サポート課	9
	2 ボランティア活動の奨励	II-2							
	3 生活文化を高める活動	II-5							
	4 芸術・文化の振興	II-6							
	5 地域で取組む生涯スポーツの振興	II-7							
	自立と協同の態度を培う幼児教育	こども未来課	10	新しい保育指針・幼稚園教育要領に基づく幼児教育・保育のあり方を整え、将来の幼児教育基盤を築く方針を定め、特色ある保育・教育を築く。	6 新しいコミュニティづくり	II-8			
					7 社会教育指導者の確保と育成	II-10			
1 保育所、幼稚園の入退園の案内と手続事務の適正な執行					I-12				
2 未就園児童家庭への適切な支援と情報提供									
3 保育所、幼稚園の施設環境の改善と維持									
4 保育所、幼稚園関係者の各種会議の適切な運営と職員の情報共有									
5 緊急事態への体制整備と対応									

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.1

施策名	新しい時代を拓く教育委員会の創造
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	教育総務課

重点目標	教育委員会会議の機能の充実を図り、市民や学校現場の声に耳を傾け、新たな課題に対応した教育施策を実施する。		
小項目	1 実効的な会議の運営 2 活動状況に関する情報の公開 3 教育の改革・改善に向けた課題認識 4 行政委員会としての執行力の向上 5 教育委員の研修の充実		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 教育委員会所管施設の視察や相互の意見交換	・所管施設50箇所以上を3日に分けて隈なく訪問 ・施設状況の確認と対応など、各施設長と意見交換	概ね達成
	2 教育委員会関連の予算編成方針への関与・参画	・定例会において予算関連を重要視 ・各委員からの積極的な意見・要望の提起	達成
	3 活動状況の情報発信や広報活動	・教育委員会活動の積極的な広報・開示 ・ホームページを改善・更新	概ね達成
	4 移動教育委員会や実効的な会議運営	・移動教育委員会を市街地の商業・公共複合施設で開催 ・11月定例会以降、「教育委員からの提案」として討議機会を増設	概ね達成
今後の課題	教育委員会による教育現場の状況把握や市民との対話機会の拡充に取組み、また求められている必要な課題の把握に努める。		自己評価
自己評価所感	拓かれた教育委員会を目指し、広報やホームページを活用した情報発信や、教育委員会会議においては「委員の提案・報告」を設けて、討議機会の増設など、新たな取組みを行った。今後も情報収集と課題認識に努める。		概ね達成

教育委員会による評価	評価
<p>教育委員会としては、単なる事務局の追認機関からは脱却しつつあり、形骸化した教育委員会から改善されている途上にある。予算への関与・参画については、積極的に行っているものの、結果としての予算への反映に関しては、更なる努力が望まれる。市長との意見交換の場の設定も望む。</p> <p>学校統廃合や幼保民営化については、市民参加や市民の意見聴取を積極的に取り入れる必要がある。</p> <p>教育委員会としては、今後も停滞することなく、教育委員会の発展と充実を目指すことが重要である。</p>	やや不十分

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.1

評価委員による評価	評価結果
<p>情報公開等の努力をされ、教育委員会が単なる事務局提案の追認機関から脱却しようと努力されていることはうかがえる。ただ重要な問題のはずの学校再編案、幼保施設の再編、民営化案について、教育委員会としてどう考えているのかが見えない。</p> <p>また市内の所管場所50箇所以上を3日に分けて隈なく訪問とあるが、余りにも現場に行っていないのではないかという印象を持った。文書通達だけでなく、現場で仕組みを造り込まなければならない。今後とも市長部局との懇談、市民との対話等を積極的に進められるよう期待する。</p> <p>今年度は、各教育委員がきちんと評価をされており、外部評価をする際に参考になった。ただし、教育委員が資料の不足などを理由として評価できないと記述されているのが目立ったが、この点をどのように考えておられるのか、事務局、教育委員ともによく考えていただきたい。</p>	<p>教育委員会による「やや不十分」とした自己評価が、適切である。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
定例会、臨時会を適宜開催できているか。	○
会議議案・資料の事前配布ができているか。	△
教育関係予算、各種計画等が協議事項となっているか。	○
事務局や教育機関への適切な指導が行われているか。	△
会議の議事録は公開されているか。	○
会議の開催は広報、周知されているか。	△
会議傍聴者の増を目指した取組みが行われているか。	△
ホームページや市広報誌の利活用ができているか。	△
情報発信とパブリックコメントは実施できているか。	△
会議の活性化を図る対策ができているか。	△
教育委員と事務局で問題等の共有化ができているか。	○
市長部局との懇談や意見交換の場が設置できているか。	×
積極的な情報収集や現状把握ができているか。	○
教育委員と事務局の連携ができているか。	○
PDCAサイクルの点検ができているか。	△
教育委員会関係機関の研修会に参加できているか。	○
学校現場や事務局職員との研修はできているか。	△

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.2

施策名	基礎、基本の定着と、個性や能力を伸ばす教育の充実
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	学校教育課

重点目標	生涯学習の基礎となる基礎的・基本的な知識技能の習得、自ら学び考え、物事に主体的に関わっていこうとする意欲や態度を育成する。		
小項目	1 学ぶ喜びと個性を生かす学習指導の充実 2 創意工夫を生かした総合的な学習の時間の充実 3 自己実現をめざした進路指導の充実 4 一人一人の教育的ニーズを把握した特別支援教育の推進		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 各校の地域や学校の実態に応じた教育課程編成への指導助言	<ul style="list-style-type: none"> 特色を生かした教育課程の編成 新学習指導要領に向けた移行措置の徹底 授業時数の確保 	概ね達成
	2 多様な個性・能力を持った児童生徒へのきめ細かな指導	<ul style="list-style-type: none"> 新学習システム(少人数・TT)の推進 新学習システム(教科担任制)の推進 ヤングアドバイザーの配置と活用の充実 研修による指導方法の工夫・改善 	概ね達成
	3 児童生徒一人一人に教育的ニーズに対応した特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学びのサポーターの配置・活用 スクールアシスタント配置・活用 特別支援学校のセンター校機能の充実 校内特別支援教育推進委員会の充実 	概ね達成
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領完全実施に向けて、移行措置を確実に実施する必要がある。 小学校教科担任制新学習システムについて、さらに研究・推進する必要がある。 		自己評価
自己評価所感	様々な研修・研究の推進により、指導方法の工夫・改善が図られ、確かな学力を育むためのきめ細かな指導が充実してきている。さらに、学力向上と特別支援教育の充実に向けて、個に応じた指導の拡充・推進に取り組む。		概ね達成

教育委員会による評価	評価
全体的な指導状況は評価できる。ただし、指導方法の工夫や改善に対し、更なる向上を目指して指導・支援に努めてもらいたい。例年通りの取組みを慣例的に行うのではなく、ニーズに対応したきめ細やかな指導を願う。 学校図書、理科備品、各種機器の充実については、その必要性を強く感じるため、予算の確保に努めて欲しい。	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.2

評価委員による評価	評価結果
<p>年を追うごとにきめ細かな学習支援を充実させておられると思う。また、新学習システムへの取り組みについても努力されていることがうかがえる。特に、特別支援の取り組みは、努力をされ、充実していると思う。欲を言えば、小野市などでは脳科学者を教育行政顧問にして小野検定を実施しているが、加西市でも学校の枠を超えて、学習意欲を向上させるような取り組みがあってもいいのではと思う。また新学習指導要領を軌道に乗せるには、PDC/Aサイクルを繰り返し高めていかなければならない。</p>	<p>「概ね達成」とした自己評価は、適切である。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
学習指導法の工夫・改善にかかる研修の充実が図られたか	○
少人数指導などきめ細かな指導の推進が図られたか	○
教科担任制等学校の実態に応じ創意ある指導体制を構築できたか	○
ヤングアドバイザー等指導員の適切配置と効果的活用ができたか	○
横断的・総合的な課題に主体的に取り組む態度や姿勢を育てられたか	○
かさいいいきき学校応援事業の効果的な活用が図られたか	○
地域人材の活用など、創意ある取組が進められたか	△
望ましい職業観・勤労観を育成できたか	△
自己理解を深め、主体的な進路選択ができる能力を育てられたか	○
児童生徒一人一人の障害の状況や特性に応じた就学指導を行えたか	○
それぞれの課題を明確にした指導計画を立て、指導支援を行えたか	△
特別支援学校をセンター校に位置づけ、研修活動などを積極的に行えたか	○
学びのサポーターによる、指導の充実が図られたか	○

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.3

施策名	豊かな体験と心の教育の充実
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	学校教育課

重点目標	体験的・実践的な活動を通して、心身の調和のとれた児童生徒の育成を図る。		
小項目	1 心に響く魅力ある道徳教育の推進 2 自己実現と共生をめざす人権教育の推進 3 個と集団が伸びる特別活動の推進 4 児童生徒理解に基づく生徒指導の推進 5 健康保健安全教育の充実		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 学校の教育活動全体を通して、道徳教育、人権教育の推進	・道徳教育・人権教育の全体計画・年間指導計画の見直し ・道徳の時間の指導方法の工夫 ・人権教育の研修の充実	概ね達成
	2 望ましい集団活動や体験活動を通じた調和のとれた個性の伸長と自立的態度の育成	・「自然学校」「トライやる」の推進 ・自然・社会体験活動の推進 ・加西いきいき学校応援事業の充実	概ね達成
3 安全安心な学校づくりに努めるとともに、児童生徒自らが健康で安全な生活を送る能力と態度の育成	・新型インフルエンザの感染拡大防止 ・保健・健康教育の充実 ・保護者・地域と連携した安全・防災教育の推進	概ね達成	
今後の課題	・生徒指導の充実の観点から、規範意識、自尊感情、社会性をさらに高めるための、道徳教育の充実が重要である。 ・安全・防災教育とともに施設・設備の整備を含む環境づくりが重要である。		自己評価
自己評価所感	道徳教育の全体計画の見直し・実践と体験的・実践的な活動の充実により、豊かな心が育まれてきている。また、安全安心の学校づくりについて、施設・設備には課題があるものの、家庭や地域と連携した取組はよく推進できている。		概ね達成

教育委員会による評価	評価
色々な取組みについて適正に推進されたものと考えられるが、毎年継続的に行われている各事業については、慣例的にならないために、更なる発展を目指した検証をする必要がある。 家庭や地域との連携については、PTA活動や見守り隊など、子どもたちのために協力をしていこうとする意識が育っている。多大な感謝と評価に値するものと感じている。	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.3

評価委員による評価	評価結果
<p>学校の取り組みとしては非常によく努力されていると思う。ただ子どもたちの道徳意識、社会規範の形成には、学校、家庭、地域が深くかかわっている。特に長年に渡って熟成された地域コミュニティの暗黙のルールが、そういった意識形成に大きな役割を果たすことも忘れてはならないと思う。道徳教育の充実と、今後益々高齢化社会となるので老人会の協力と、独居老人と学校との連携を強めることが大切である。</p> <p>なお保護者、地域と連携した安全・防災教育の推進という達成状況が、この箇所の施策名、重点目標の中には、うまく位置づかない。安全安心な学校づくり、家庭、地域との連携は、極めて重要な取り組みであり、施策名、重点目標の掲げ方を工夫する必要がある。</p>	<p>「概ね達成」とした自己評価は、適切である。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
道徳教育の全体計画・年間指導計画の点検見直しが図られたか	○
体験的な活動を通して、生活の場で生きる道徳的実践力が育成できたか	○
心に響く魅力的な教材の開発、活用が進められたか	△
「ほほえみ」「きらめき」「心のノート」の活用が図られたか	○
教育活動全体を通じて人権教育を推進できたか	○
人権問題を主体的に解決しようとする確かな人権意識を育てられたか	○
望ましい集団活動や体験的な活動を通して調和のとれた個性の伸長が図られたか	△
学級会や生徒会活動を通し、社会的自立への指導が進められたか	○
行事の精選や効果的な実施が図られたか	○
児童生徒一人一人の内面理解に基づく指導ができたか	○
保護者、地域と連携して生徒指導の推進が図られたか	○
小中学校間の連携の充実など連続的な指導ができたか	△
教育相談体制の充実、関係機関との連携ができたか	○
安心安全な学校環境作りを推進できたか	△
生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てられたか	○
発達段階に応じ、自ら健康で安全な生活をする態度能力を育成できたか	○
食育の充実が図られたか	△

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.4

施策名	豊かな体験と心の教育の充実
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	自己実現サポート課

重点目標	家庭の教育力の向上、青少年の社会参加や体験活動機会の充実、地域の人々の主体性に基づいたコミュニティの活性化を図る。		
小項目	1 たくましくころ豊かな青少年の育成		
	2 愛と豊かな人間性を育む家庭教育		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 家庭、学校、地域社会等、市民が一体となった青少年の育成活動	・ジュニアリーダー教室の実施 ・PTCA活動の活性化 ・青年連絡会「えんどれす」の地域青少年育成活動の支援	達成
	2 子ども達の不安や悩みを解消する取組を進め、明るく豊かで健やかな家庭づくりの支援	・家庭教育講座の実施 ・連合PTA活動の推進 ・学童保育の充実 ・放課後子ども教室の充実 ・連合婦人会による子育て支援の実施	達成
	3 家族がともに過ごす時間を増やし、生活体験・社会体験を共有し、ころ豊かでたくましい子どもの育成	・かさいキッズふれあい事業の実施 ・子ども会活動の推進 ・子ども情報誌の発行	達成
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育の土曜日開設 ・青少年を対象としたイベントや事業の充実と広報 ・市民主体の子育て支援 ・若者のネットワーク作りの推進 		自己評価
自己評価所感	<p>連合PTA、子ども会、婦人会など社会教育団体が会長を中心に自主的に活動しようという意欲が出てきていることは評価でき、引き続き支援が必要である。また、ジュニアリーダー教室については、教室生も増え、充実した活動を行っており、卒業後もリーダーとしてジュニアリーダー教室、えんどれす等の青少年育成活動や若者のネットワーク作りに参加しており、組織基盤強化ならびに自立した活動を期待したい。</p>		達成

教育委員会による評価	評価
<p>PTAや子ども会活動など、地域住民の社会参加支援は評価できるが、現在の施策や事業について、このままでいいのか、慣例化した事業などを検証し、実効性を向上させていくような、新たな試行に取組むなど抜本的な見直しも必用。</p> <p>青少年の育成に関しては、より広範な年代に広がるような取組を進めてほしい。更には、青少年を含む地域住民の社会参加を望む。</p>	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.4

評価委員による評価	評価結果
<p>連合PTA、市子連、連合婦人会等の活動支援については非常に良くされていると思う。</p> <p>ただ、マンネリ化している行事、事業もあると思うので、そのあたりの見直し等も各団体とよく話し合っよりよい活動になっていくよう支援をお願いしたい。PTCAの協力体制が大切であると思う。</p>	「概ね達成」とした自己評価は、適切である。

日常的事項の点検評価項目	自己評価
家庭教育・地域教育の向上を目指した啓発活動が行われているか。	○
ジュニアリーダー教室など、青少年団体の育成と青少年のリーダー養成が行われているか。	○
地域住民(C)が参画・協働するPTCAによる教育支援体制づくりが行われているか。	○
「家庭教育講座」「子育て学習センター」の充実が行われているか。	○
学童保育を実施することにより、保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境づくりと児童の安全確保に関する情報の提供が行われているか。	○
安全安心な子どもの活動拠点として小学校に「放課後子ども教室」を設け、異学年の子ども達の群れ遊びやスポーツ、学習などの活動が行われているか。	○

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.5

施策名	時代に対応した教育の推進
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	教育総務課

重点目標	子どもの安全確保のための施設整備と健康づくり		
小項目	1 各学校施設の適正管理		
	2 教育関係施設の計画的な整備		
	3 学校給食の適正実施		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 困障バリアフリー化の促進と備品の整備	車椅子の児童生徒等が必要とする部分にスロープ等を順次整備	概ね達成
	2 学校の統廃合計画と耐震化の推進	・耐震診断結果に基づき耐震性が特に低い施設より耐震化を実施 ・耐震化率は42.6%が46.8%と向上 ・学校再配置PTにおいて統廃合計画を検討	概ね達成
	3 食材の安全性確保と地産地消の推進	給食費の値上げによる良質な食材の確保、及び米飯給食を週4.25回として1回増による地元産米の消費増、更にJA・生産者・栄養教諭等の調整・連携による食材の安全確保と地産地消に取り組む	概ね達成
	4 市内全中学校への給食実施	市内4中学校のうち、1校のみで実施中の給食について、残る3中学への実施拡大を目指したが、予算等の種々の事情により先送り	不十分
今後の課題	木造校舎の耐震診断結果により、木造校舎の耐震補強計画を全体計画に組入れる。この耐震診断結果は平成22年度末になるため、計画への反映も22年度末となる。		自己評価
自己評価所感	それぞれ種々問題があったが、全体として業務の遂行は概ね達成できたものとする。		概ね達成

教育委員会による評価	評価
<p>限られた予算の中で精一杯の努力は評価できるが、十分な予算確保に努めて欲しい。各給食施設の整備の遅れと全中学校への給食実施が今後の課題。</p> <p>学校統廃合にかかる教育委員会案を策定できなかったのは残念であるが、市内部のPTで策定中の学校再配置計画に、教育委員会の意向を反映できればと考える。</p> <p>学校耐震化に関しては、順次進められている点は評価できるが、木造校舎の耐震診断後の対応が重要。</p>	やや不十分

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.5

評価委員による評価	評価結果
<p>予算が厳しい中で、バリアフリー化や耐震化、地産地消などに取り組んでおられる点は評価できる。しかし課題も大きい。まず、新しい学校再編案が作成される過程で、きちんと教育委員会案をまとめるべきだったと思う。このような教育上の大問題で教育委員会案が省かれてしまうのでは、教育委員会の存在意義が問われると思う。学校耐震化に関しても、統廃合とは切り離して実施するという話だったが、まだ学校再編案をにらみながらやっていて、耐震化の早期完了に集中できていない状況だと思う。子どもの安全安心を第一に考えるのが教育委員会の本来のあり方だと思う。</p> <p>耐震化の推進は待ったなしである。学校統廃合の意思を明確にすべきである。施策名にあるように、時代に対応した教育の推進にさらに取り組んでいただきたい。</p>	<p>教育委員会による「やや不十分」とした自己評価が、適切である。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
困障の整備ができているか。	△
バリアフリー化が促進できているか。	○
備品の充実ができているか。	△
施設の管理と整備が適切に行われているか。	○
学校統廃合を計画的に進めているか。	△
学校耐震化計画が策定されているか。	△
学校耐震化工事を計画的に進めているか。	○
安全な食材購入ができているか。	○
食育や健康づくりを推進する献立となっているか。	○
地産地消の活用ができているか。	○
子どものアレルギー対策はできているか。	△

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.6

施策名	時代に対応した教育の推進
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	学校教育課

重点目標	国際化、情報化など急激な社会変化に主体的に関わり創造的に生きることのできる態度や能力の育成を図る。		
小項目	1 異なる文化を理解し尊重しあう国際理解教育の充実 2 共に生きる社会をめざす福祉教育の充実 3 人と自然の調和をめざす環境教育の充実 4 情報社会に主体的に対応できる情報教育の推進		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 国際社会に生きる日本人としての自覚を育て、異文化を理解し共生する態度の育成を図る国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 英語指導助手の活用による国際理解教育の充実 小学校英語活動の充実 多文化共生サポーターの活用 	概ね達成
	2 高齢者や障害のある人などへの理解を深め日常的に福祉活動に取り組む意欲や態度の育成を図る福祉教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者・障害のある人や特別支援学校との交流 福祉体験活動の推進 ボランティア活動の推進 	概ね達成
	3 自然を大切に思う心や命を尊ぶ心や態度を育成し、環境問題を自らの課題として受け止め取り組む環境教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「環境体験事業」の推進 総合的な学習の時間の充実 道徳の時間の充実 	概ね達成
	4 情報処理能力、情報モラルの育成を図る情報教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた情報教育の充実 情報モラルに関する研修の充実 	やや不十分
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 小学校英語活動において、担任と英語指導助手の連携について研修が必要である。 ネットへの書き込みや携帯電話の所持について、家庭と連携した情報モラルの指導が必要である。 		自己評価
自己評価所感	小学校の英語活動や国際理解教育について、英語指導助手の活用により充実してきている。また、各校の地域性を生かした福祉教育への取組も推進できている。環境問題への意識向上に向けて、体験的・実践的活動の充実に取り組みたい。情報教育については、家庭と連携したモラルの育成に取り組みたい。		概ね達成

教育委員会による評価	評価
英語活動における充実の評価できる。今後は更なる発展を目指して、現状の取組みを活かしながら、実効性のある課題解決を望む。生徒用コンピューター活用、教材ソフトの研究、外国語指導助手の活用、自然学校やトライやるの評価など、その対象は多くある。 環境体験事業の取組みについても、実施状況、課題、今後の方向等を示し、充実したものとして発展させて欲しい。	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.6

評価委員による評価	評価結果
<p>異文化理解教育と福祉教育、環境教育について、しっかりと取り組んでおられると思われるが、さらに充実させてほしい。まず、異文化理解教育と福祉教育、情報モラルの意識向上などは、人権に関わる部分が大きく、共通するものがあると考えられるので、個々ばらばらに取り組むのではなく、一貫した考え方をもとに今後も一層積極的に取り組まれることを期待する。また特に英語教育を充実すべきである。国際化社会に役立つ内容にすべきであり、英語を話せないと就職できなくなる時代になりつつあることを認識してほしい。これらの教育は、今後ますます重要になってくると思う。どのような教育をするのか、どこまでの達成度を目指すのかという目標を絞り込み、目標を達成するための手段を明確にし、積極的に推進して、「教育都市かさい」の特色にしてほしい。</p>	<p>「概ね達成」という自己評価は適切ではなく、充実すべき点が多いことから「やや不十分」と判断した。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
国際社会に生きる日本人としての自覚を高める取組ができたか	○
異文化を理解し尊重する態度の育成が図られたか	△
ALT等の活用により、異文化理解とともにコミュニケーション能力の育成が図られたか	○
体験的な活動を通して、日常的に福祉活動に取り組む態度を育てられたか	○
福祉教育の充実を通して、自己有用感を高め、自己実現が図られたか	○
自然や命あるものとふれあう活動等を通して、豊かな感性が育てられたか	○
体験的な活動を通じて、環境を守る姿勢や態度が育てられたか	○
教科学習や体験活動を通して省資源・省エネの姿勢を育てられたか	△
課題や目的に応じて情報を収集、選択、処理、発信する能力が育てられたか	○
情報モラル教育の充実が図られたか	△
携帯電話の所持やフィルタリングなど保護者への啓発に努めたか	△

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.7

施策名	生涯学習及び芸術文化、スポーツの振興
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	市史・文化財室

重点目標	ふるさと加西の文化財の保存と活用を推進する		
小項目	1文化財保存と活用の充実		
	2歴史文化遺産の魅力発見と発信		
	3市史編さんの推進と活用		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 指定文化財の保全と活用	・古民家再生事業ならびに国登録文化財制度の活用 ・指定文化財管理の徹底	達成
	2 地域文化財継承のための取り組み支援	・保存会活動支援 ・地域文化財活用指針の策定 ・官学連携による基礎調査推進 ・埋蔵文化財保護と開発計画の調整	達成
	3 史跡整備と適正管理	・史跡整備構想計画の策定 ・玉丘史跡公園の指定管理事業適正化 ・史跡草刈管理	やや不十分
	4 活動状況の情報発信や広報活動	・市HPや観光情報誌への掲載 ・文化財マップの刊行 ・民俗文化財ビデオの編集刊行	達成
	5 市史編さん業務の円滑推進	・市史第7巻の発刊 ・市史を読む会開催による普及活動 ・市史販売促進	概ね達成
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化遺産活用指針の具現化 ・史跡等の文化財を活かしたまちづくり構想の策定 ・市史発刊計画にもとづく事業推進 ・埋蔵文化財整理室の活用 		自己評価
自己評価所感	<p>歴史文化遺産活用指針の策定、公園指定管理条件の見直し、地域文化財の発掘ならびに評価及び市広報活動の積極的取り組み、市史の普及活動等を行ったことは将来のまちづくり等に向けて一定の前進があった。一方で、史跡活用構想の未策定や埋蔵文化財の活用が不十分であることは否めず、また市史発刊計画に少々の遅れが生じたことは残念である。</p>		概ね達成

教育委員会による評価	評価
<p>文化財保存や歴史文化遺産の活用においては、限られた予算の中で努力しており評価できる。今後の課題は、歴史文化遺産の活用指針に基づく施策の展開を推進するところであり、更なる周知活動とともに予算の確保が必須である。</p> <p>今後における「活用」として、予算枠に左右されるところではあるが、まちづくり関係や観光関係など、市民との繋がりを拡大充実させて欲しい。</p>	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.7

評価委員による評価	評価結果
<p>着実に取り組んでおられる項目が多く、評価できる。しかし自己評価において適切に認識されているように、史跡整備については、さらに取り組んでいただきたい。せっかく立派な史跡公園があるのだから、そこを中心に加西市の歴史、文化を発信すべきである。将来的には「玉丘公園に行けば加西市の歴史、文化の全てが分かるからぜひ行ってみてください」と市外の人に言えるような公園に育てていってほしい。歴史文化遺産の本当の評価を見つけ出し、まちづくり構想を策定するようにさらに努力していただきたい。</p>	<p>特に史跡整備の状況の観点からは「やや不十分」との判断もありうるが、全体として見るならば、着実に取り組んでいる項目も少なくないことから、「概ね達成」という自己評価は、適切であると判断した。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
地域文化財保存と活用支援が適切に行なわれているか	○
埋蔵文化財保護と開発事業計画との調整を行っているか	○
史跡を適正に管理し、活用が図られているか	△
官学連携や市民参画が推進されているか	○
歴史文化遺産の適正な評価が行われているか	○
成果が公表されているか	○
市史発刊計画が円滑に行われているか	△
市史販売を促進する工夫を講じているか	○
市史資料の調査、収集とを積極的に行なっているか	○
市史資料を適正に保管し活用を図っているか	○

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.8

施策名	生涯学習及び芸術文化、スポーツの振興
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	学校教育課 青少年センター

重点目標	家庭・学校・地域・関係機関が連携し、市民ぐるみで子どもたちの健全育成、非行防止を図る。		
小項目	1 巡回補導活動		
	2 相談活動		
	3 広報啓発活動		
	4 関係機関との連携		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 家庭教育・地域教育の向上を目指した啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙「センタータイムス」の発行 7回/年 ・機関紙「センターだより」の発行 3回/年 ・地区別健全育成会出席 10回/年 ・中学校区別補導委員研修会出席 4回/年 ・青少年健全育成キャンペーン 1回/年 	達成
	2 地域社会の青少年問題に対する関心の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・非行ゼロポスター、標語等募集 1回/年 ・非行ゼロポスター入選作品の展示 各小中他 ・非行防止カレンダー発行 1回/年 ・広報車による街頭補導 ほぼ毎日 	概ね達成
	3 学校・警察その他関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・警察・青少年センター連絡会 5回/年 ・生徒指導連絡会 6回/年 ・学校訪問 201回/年 ・健全育成連絡協議会 9回/年 ・補導委員連絡協議会 7回/年 	概ね達成
4 青少年健全育成活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・相談活動 204件/年(電話39件、面接165件) ・環境浄化推進活動 随時 ・有害図書販売店等への協力要請 随時 ・節句まつり等特別補導活動 随時 	概ね達成	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における健全育成の取り組みにかなりの温度差がある。また、情報連携が不十分な地域がある。 ・関係団体間の連携協力が推進するよう検討することが重要である。 		自己評価
自己評価所感	<p>学校や警察、補導委員連絡協議会、健全育成連絡協議会等との「情報連携」を円滑に行い、青少年の健全育成の取り組みが定着してきている。今後は、「情報連携」「行動連携」をより強化し、市民ぐるみで青少年の健全育成・非行防止につなげる体制整備に取り組みたい。</p>		概ね達成

教育委員会による評価	評価
<p>啓発活動や巡回補導など、活動状況については評価できる。地域や関係機関との協力・連携についても円滑に進められている。今後は、活動の効果を検証し、実効性の更なる充実を求められる。</p> <p>青少年や保護者からの相談活動においては、その体制を拡充する必要があるのではないか。また、相談者の孤立を防ぐ体制づくりも必要。</p>	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.8

評価委員による評価	評価結果
<p>家庭、学校、地域、関係機関が連携した取り組みは、開催回数から判断して充実していると評価できる。しかし、本当に地域に根ざした青少年健全育成の取り組みができているのか、効果があるのかどうかは、さらに検討が必要であろう。また青少年センターの活動がまだ十分に周知されていないところがあると思うので、本人、保護者からの相談活動も含めてもう少し周知する方がよいと思う。</p> <p>青少年の非行防止の根本には、一人ひとりの存在が認められる教育があるべきと考える。対症療法的な防止策と同時に、スポーツやその他の社会的活動を通じて、青少年の自己肯定感を育むような取り組みをされることを期待する。</p>	「概ね達成」とした自己評価は、適切である。

日常的事項の点検評価項目	自己評価
補導委員、女性協力員の巡回補導回数は満たされたか	○
全補導委員が巡回に参加したか	△
青少年への声かけができたか	○
職員は時間の許す限り巡回パトロールをしたか	○
相談者に対して親身になって対応したか	○
相談者のプライバシーに配慮したか	○
青少年センターが相談機関であることを市民に周知徹底したか	△
相談件数は十分か	○
機関誌の内容が青少年や保護者のニーズに応えていたか	○
機関誌の内容が青少年や保護者への啓発になっていたか	○
機関誌の発行回数は適当か（月1回）	○
関係機関との話し合いの場が十分確保できたか	○
関係機関と共有できる課題を見つけたか	△
関係機関と連携した取り組みができたか	○

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.9

施策名	生涯学習及び芸術文化、スポーツの振興
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	自己実現サポート課

重点目標	市民の生涯各時期にわたって多様な学習機会を提供し、市民が自己の学習ニーズに基づいて学習ができるように支援する。		
小項目	1 生涯学習体制の整備		
	2 ボランティア活動の奨励		
	3 生活文化を高める活動		
	4 芸術・文化の振興		
	5 地域で取組む生涯スポーツの振興		
	6 新しいコミュニティづくり		
	7 社会教育指導者の確保と育成		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 学校教育と社会教育の連携に対応した学習機会の拡充	・学校体育施設の開放 ・学校教育活動支援「学校支援地域本部事業」によるボランティア活動の実施	達成
	2 社会教育施設の整備・充実	・公民館、各種団体、市民等と連携を図りつつ図書館自主事業を実施 ・市民交流センターと図書館の連携	達成
	3 住民が地域の課題を自身の問題として捉え、解決していこうとする意識の醸成	・文化、体育等の各団体の自立と自主事業の展開 ・社会教育委員会ならびに社会教育推進員の活性化	やや不十分
今後の課題	・市民や地域、行政の連携を深めるため、生涯学習のあり方基本計画を策定する。 ・社会教育施設の活動情報等を発信。 ・市民が自発的に学習活動を行なう環境整備を進めつつ、市民自らが地域還元を行なう機会を設ける。		自己評価
自己評価所感	文化や体育各団体の活性化は、道険しい状況である。しかし、体育協会自主事業のように団体自立への萌芽が認められることは評価でき、育成を継続する必要がある。学習環境整備にあつては、図書館と市長部局との連携を社会教育推進ならびに市民サービスの向上を目的に取組みを行なった。		概ね達成

教育委員会による評価	評価
生涯学習の重要性は、現在の加西市にとって非常に重要な分野であると言える。市の高齢化が進む中、後継者の育成は急務であり、市民の多様なニーズに応え、学習終了後には社会貢献を行う人材育成を目的とする具体的な方針を、適切に定め、更に社会教育全般の発展と推進に努めて欲しい。	概ね達成

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

No.9

評価委員による評価	評価結果
<p>生涯学習、芸術文化、生涯スポーツのための環境整備は、進んでいるように思われる。ただし問題もある。具体的には、地域で取り組む生涯スポーツの振興という目標を掲げられているが、ある校区では何十年も前から町ごとにバレーボールチームを作って、市のバレーボール大会を目指して小学校の体育館で練習をしている。ところが今年から一時間300円を照明料という名目で徴収されるようになったため、少額ではあるが誰がどのようにその料金を負担するのかという問題が出てきた。長年町住民の健康増進と親睦に役立ってきた活動がわずかなお金の為に消滅してしまうのではないかと危惧している。例えば町住民の健康増進と親睦に役立つような活動に関しては、区長が証明して使用料を免除するというようなことはできないものか。目標と実際やっていることが矛盾しているように思う。</p> <p>また教育委員会の評価にもあるように、今後、益々の高齢化が進む中、市民の学習ニーズに応えるための後継人材の育成も急務であると考え。</p>	<p>不十分な点はあるが、「概ね達成」とした自己評価は、適切である。</p>

日常的事項の点検評価項目	自己評価
事業の効率化と市民サービスの質向上のため、市長部局等との連携を強化が行われているか。	○
社会教育関係団体の活動を支援し、学校等の施設開放を行うなど自主的活動の促進が行われているか。	○
市民ニーズに合った図書館運営が行われているか。	○
自発的で多様なボランティア活動の場の設定やその機会づくりが行われているか。	△
地域の教育力を活性化し、学校教育全般に対するボランティア活動が行われているか。	○
特徴を生かし、地域に根ざした特色ある公民館をめざし、幅広く市民から親しまれる公民館づくりが行われているか。	○
自主的な教育活動や文化活動を積極的に推進し、社会還元できる人材養成が行われているか。	△
職員の資質の向上を図り、レファレンスサービスの充実と利用促進が行われているか。	○
公民館、各種団体、市民等と連携を図り、市民が交流する賑わいのある場所づくりが行われているか。	○
愛好する市民の発表の機会として、文化連盟の協力を得ながら市文化祭が行われているか。	○
文化連盟各協会の活性化と育成に努め、地域の芸術文化の拡充と振興が行われているか。	×
市体育大会、加西ロマンの里ウォーキングなどの開催行事の充実が行われているか。	○
スポーツ施設の活用と整備充実が行われているか。	○
「スポーツクラブ21ひょうご」の育成と連携支援が行われているか。	△
地域住民の交流を深め、加西のよさを発見し、地域の特色を生かしたまちづくりが行われているか。	○
ふるさと運動推進事業や青少年活性化事業を、市民の参加と参画を得て一層活性化が行われているか。	○
社会教育推進員の研修会が行われているか。	○
体育指導委員の資質の向上を図り、活動の場の提供が行われているか。	△
高齢者や公民館活動の経験者など、潜在指導者を見い出す活動が行われているか。	×

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

シートNO.10

施策名	自立と協同の態度を培う幼児教育
評価対象期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
主管課	こども未来課

重点目標	新しい保育指針・幼稚園教育要領に基づく幼児教育・保育のあり方を整え、将来の幼児教育基盤を築く方針を定め、特色ある保育・教育を築く。		
小項目	1 保育所、幼稚園の入退園の案内と事務の適正な執行		
	2 未就園児童家庭への適切な支援と情報提供		
	3 保育所、幼稚園の施設環境の改善と維持		
	4 保育所、幼稚園関係者の各種会議の適切な運営と職員の情報共有		
	5 緊急事態への体制整備と対応		
推進事項	取組み	達成状況	個別判定
	1 校種間の円滑な接続と連携の強化	・保育所と幼稚園連携 公立全園実施 私立園未実施 ・幼稚園と小学校 公立全園実施 私立園未実施 ・保育所と小学校 公私立園未実施 ・幼保施設と中学校 トライやるウィーク公私立全園受入	やや不十分
	2 家庭や地域社会との連携強化	・家庭との連絡、意見交換の状況 <small>家庭訪問 懇談会の実施</small> ・地域との協働行事の開催状況 <small>各園で随時実施</small> ・園庭開放、未就園児童の来園事業 公私立全実施	概ね達成
	3 幼児教育・保育内容の充実	・新保育指針への取組み 各種研修会開催実施 ・食育への取組み 食育講座実施(公立園全園) ・幼稚園教育要領への取組み 研修会開催実施	やや不十分
	4 乳幼児期の特別支援教育の充実	・児童療育との連携 専門家の園訪問・学習会・就学指導 ・加配職員の配置状況 該当園6園に8名配置 ・会議の開催状況 担当者会 年/4回 特別支援講座 年/2回 教育支援ネットワーク会議 年/1回	達成
5 施設評価の実施と情報公開	・評価項目について 幼稚園・保育所・幼児園評価部会検討 ・評価の実施と改善 公立幼稚園・保育所評価実施・改善 ・評価結果の公表 園だより等で公表	やや不十分	
今後の課題	・幼保施設の適正な配置計画を策定し、施設環境を向上させる。 ・将来に向けた幼児教育・保育のあり方を考え、地域との連携を活かした特色ある保育・教育計画を策定する。		自己評価
自己評価所感	21年度に加西市では、公私立保育所12園、公立幼稚園3園、公私立幼稚園7園、計22園において1200名余りの児童が保育を受けました。公立・私立の別、保育所・幼稚園の別など、多様な環境の下でも、「等しく子どもたちの適切な育ちや学ぶ機会の提供」ができる体制作りが急がれます。そういう意味で、21年度は始まりの年であったといえますので、効果につながらなかった面があります。		やや不十分

教育委員会による評価	評価
限られた予算、与えられた条件の下では適切な事業運営を行っているが、幼保施設の老朽化等による不十分さには、早期の対策が必要である。一方、各園の保育・教育への取組みは、創意工夫がうかがえ評価できる。今後、公立と私立の繋がりを強化しながら特色ある幼児教育の実現を目指して欲しい。	やや不十分

平成21年度 加西市教育委員会点検評価シート

シートNO.10

評価委員による評価	評価結果
<p>新たな就学前教育の体制づくりに取り組もうとされている点は評価できると思う。ただ課題も多く、難しい問題もあり、今後さらに取り組んでいただきたい。</p> <p>まず進め方として、急ぎ過ぎず段階を踏んで実施すべきである。幼保の一元化、小学校区内での統廃合、一部の民営化というあたりでいったん着地をして、その後は様子を見て、住民のコンセンサスが得られるようであればさらに民営化を進めていくという形がいいのではないかと。ただし施設環境の向上は急務であり、早急に取り組んでいただきたい。</p> <p>校種間の円滑な連携接続については、就学前教育が私立によっても分担されていることを考え、義務教育を担う小学校側からの積極的なアプローチが望まれる。公私立を問わず、加西市全体で子どもたちを教育・保育しているという意識を持ち、小学校への連携・接続を政策として進めることを期待する。さらに、加西市としての就学前教育の指針や基準を策定し、それに応える形で各校園の自己評価、外部ないしは第三者評価の公表を推進すべきと考える。こうした取り組みによって、就学前教育の質の保障・向上を考えるべきではないか。</p>	「やや不十分」とした自己評価は、適切である。

日常的事項の点検評価項目	自己評価
入園募集情報を分かりやすく周知できたか。	○
申請書類の記入について説明できたか。	○
入退園の決定を速やかに通知できたか。	△
保護者からの質問に適切に対応できたか。	○
全園で園庭開放しているか。	○
家庭(保護者)と連携を深める行事を多く取り入れているか。	○
地域に対して、何か協力依頼し、協力を得られているか。	○
未就園児家庭に対する支援や広報は十分にできているか。	△
安全点検を定期に実施できたか。	○
点検項目について、適時に見直しを行なっているか。	△
改善点について、迅速に対応できているか。	○
常に最善、最良の環境維持ができているか。	×
会議の内容は職員に周知できているか。	△
各担当者会を開催し、共通理解しているか。	○
決定事項や方針について、効果的な実践を行なっているか。	△
現場に十分な指導的立場の職員を配置し、機能しているか。	×
適切な対応マニュアルを毎年見直しながら作成しているか。	○
職員はマニュアルについて、正確に理解しているか。	○
園児を含め、訓練等を適時実施できたか。	○
事故やインシデント事例を集約し、発生防止策を講じているか。	△

基準は、○:「達成」、△:「普通」、×:「不十分」とする。

評価委員長による所感

昨年度と比べると、自己評価資料の作成に工夫がされていると感じたが、まだまだ不十分である。まず、PDCAサイクルの点検という評価項目があるが、資料として渡された点検評価シートについていえば、達成状況つまりDOの部分の記述が全く具体的でないところが多くある。何をどのようにしたかということを書き簡潔に書いてほしい。何を目標として、どのような取り組みを計画し、実際にどこまでできたのか、わかるようにしていただきたい。スペースがなければ別紙にしてもいい。また、普段使わないような特殊な言葉には脚注のような形で説明がほしい。

全体の印象として、教育委員会として、この点検評価をどのように捉えて、どのように活用しようとしているのかが、外部の者には伝わってこなかった。法律で義務付けられているので取り組んでいるという姿勢しか感じられない。そうした姿勢はやむを得ない面もあると思われるが、もう少し主体性を見せてほしい。少なくとも、縦割り行政の弊害を是正し、全体で取り組んでいることを自己点検できるよい機会だと思われる。また教育委員会が取り組んでいることを市民にアピールするよい機会でもあると思われる。加西市教育委員会として、この点検評価をどのように位置づけ、取り組んでいくのか、あらためて検討していただきたい。さらに財政状況が厳しいことから、費用対効果を検討することも必要であると思われる。

また、教育委員による評価と事務局による評価が異なっている点について、どのように考えておられるのか。少なくともすり合わせをしたうえで自己評価書を作成され、外部の評価を受けるべきではないか。次年度の課題としていただきたい。

教育委員会評価委員会

教育委員会の点検評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見や、客観性を確保することが可能となる方の意見をいただき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすことを趣旨としており、次の方々に評価委員をお願いしました。

評価委員会委員	
所 属	氏 名
兵庫教育大学 基礎教育学系(教育実践高度化専攻,学校経営コース) 准教授	竺沙 知章
兵庫教育大学 基礎教育学系(教育実践高度化専攻,小学校教員養成特別コース)学校教育研究センター 准教授	鈴木 正敏
保護者代表(H21年度連合PTA会長)	中右 憲利
加西商工会議所代表(監事)	小畑 靖之